

進歩し続ける 絆づくり

昨年度、牧之原市、焼津市、島田市、掛川市の4市は「協働のまちづくり4市合同研究会」を立ち上げました。市ではこの研究成果を、皆さんに情報提供しながら、対話による協働のまちづくりである「地域の絆づくり事業」に生かしていきたい。

問い合わせ 地域創生課 石神 ☎(23)0053

絆づくり事業の取り組み

昨年度は、4地区（相良・萩間・牧之原・坂部）で絆づくり事業が進められました。

3地区（相良・萩間・牧之原）は、ギネスへの挑戦や特産品のコンテスト、ウォーキングなどの事業を考え、地区ごとに実践計画を策定しました。

坂部地区では、計画に基づき実行委員会が中心となり、ゆるキャラ「さかべっち」、町内会ごとみんなが集まる居場所の設置や運営などに取り組みました。

研究会の立ち上げ

さらに昨年度は、絆づくり

事業と併せて「協働のまちづくり4市（牧之原市・焼津市・島田市・掛川市）合同研究会」を立ち上げました。

研究会は、協働のまちづくりについて全国の自治体の先進的事例を調査し、それを基に検討したことをそれぞれの地域に生かしていくものです。検討の結果、協働のまちづくりを進めるために必要なものとして、対話、ファシリテーション、話しやすい空間づくりの3つを導き出しました。

まず「対話」は、相手に敬意を持って話し合うことで、お互いの考えを理解し、気づきや共感をお互いに理解し、多様な意見が創出され、課題の解決につながります。

次に「ファシリテーション」は、上手に話し合いを進行する技術です。この技術を学んだファシリテーターがいることで、話し合いが効果的に進められます。

最後に「話しやすい空間づくり」は、机やその周りに季節のものや飾りなど、リラックスした雰囲気をつくることです。そうすることで、場が和らぎ気軽に話ができ対話の質が上がります。

対話による協働の地域づくりフォーラム



市の取り組みを紹介する村松さん



会場（坂部区民センター）の雰囲気

市での取り組みを紹介する村松さん

この研究会の成果は、2月に開催された「対話による協働の地域づくりフォーラム」で発表されました。

6地区でも絆づくり事業が始まる

今年度は、新たに6地区（片浜・菅山・地頭方・川崎・細江・勝間田）でも絆づくり事業が進められ、地区ごの実践計画の策定を目指します。

昨年度に策定した3地区（相良・萩間・牧之原）では、地区ごの実践計画を基に、事業を実行していきます。

協働のまちづくりを進めるためには

① 協働を実質的に進める「基本原則」

地域のさまざまな場面での **対話**

相手の意見を尊重し、思いやりを持って話し合うことでお互いの考えを理解し、新たな解決策などを導き出す。



グループでみんなの意見をまとめていく

② 対話を効果的に行う「技術」

話し合いを促進させる **ファシリテーション**

会議の交通整理を行い、話し合いを効率的に進める技術。



進め方を説明するファシリテーター

③ 対話の質を上げる「場所・空間」

リラックスできる **話しやすい空間づくり**

テーマに関連する場所の選択や会場の飾り付けを行い、リラックスした雰囲気をつくる。



夏をイメージした飾り付け

27年度の各地区の絆づくり事業の取り組み

取り組みをもっと身近なものに

町内会ごとの楽しい居場所づくりをさらに定着させるために、世代間の交流を深める取り組みを進めていきます。また、「さかべっち」をより身近に感じられるよう、イベントへの参加など活動範囲を広げていきます。さらに、農業振興対策などの取り組みも新たに検討していきます。

実行委員会をつくり取り組みを進める

取り組みごとに実行委員会などをつくり、実践に向けた検討を進めていきます。相良地区は15,000人お茶会、ギネスに挑戦、職人さん再発見と教えて職人さんなどの取り組みがあります。萩間地区では「ウォーキングコースづくり」「耕作放棄地でのそば栽培」「スイーツコンテスト」「コミュニティバスと乗合サポート制度」など。牧之原地区では「花いっぱい笑顔いっぱい」の取り組みを進めます。

地域の絆づくり事業が始まる

みんなの想いが実現できる地域を目指し、若い世代の人たちを中心に地域の絆を深める取り組みを話し合い、地区ごとのまちづくり計画を策定します。

坂部地区

相良
萩間
牧之原地区

片浜 菅山
地頭方
川崎 細江
勝間田地区